

ちばけん

# 障害者社会参加推進センターだより

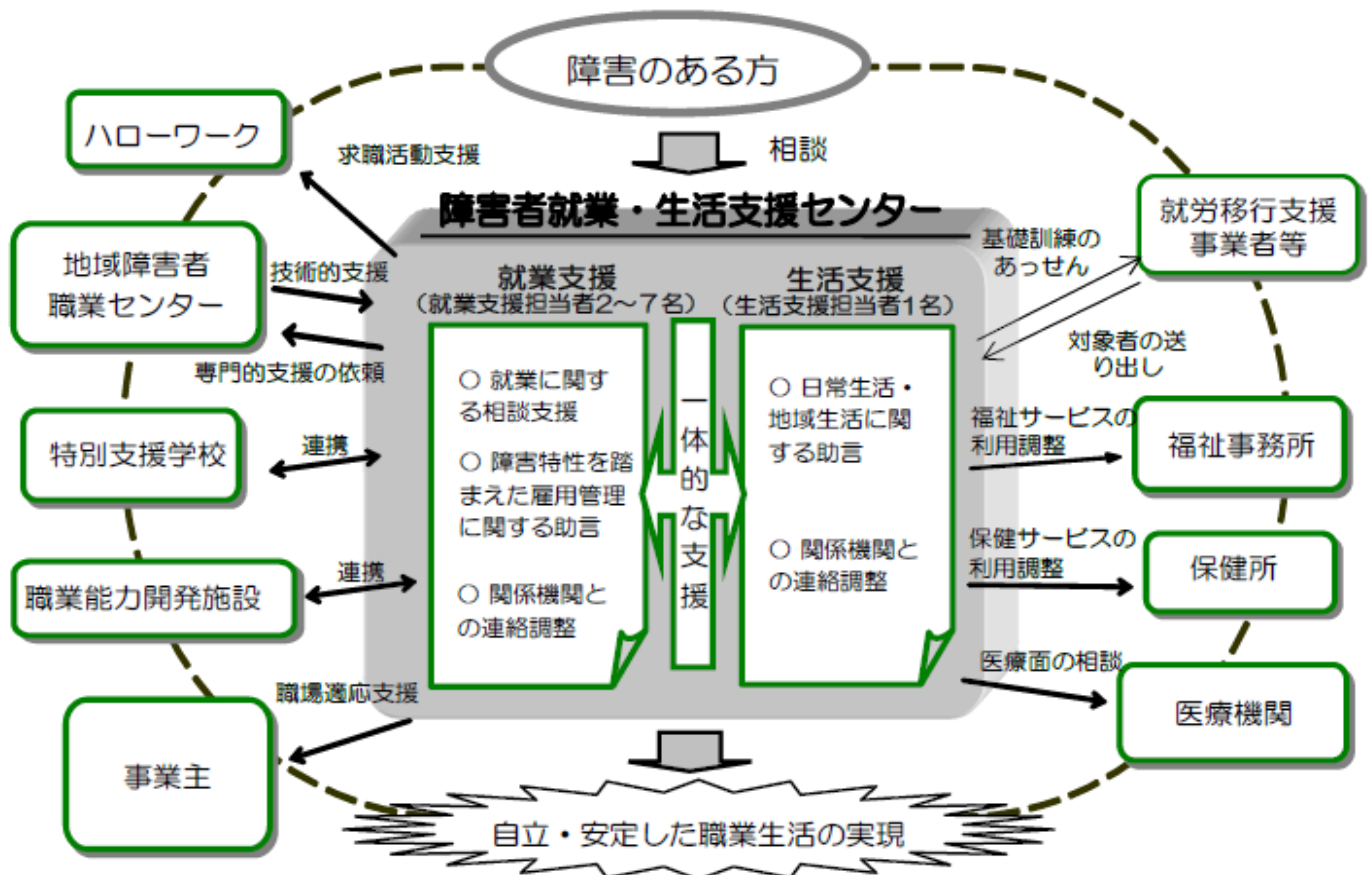
発行・編集 千葉県障害者社会参加推進センター 第 24 号  
 〒260-0026 千葉市中央区千葉港 4-3 千葉県身体障害者福祉協会内  
 TEL 043-245-1571・FAX 043-245-1578  
 E-mail:bcg03245@nifty.com  
 http://chibashinsyoukyou.style.coocan.jp/



## 障害者就業・生活支援センターを知っていますか？

「障害者就業・生活支援センター」は、障害のある方の職業的自立を実現するため、身近な地域で就職面の支援と生活面の支援を一体的に行うことを目的としています。

公共職業安定所、地域障害者職業センター、社会福祉施設、医療機関、特別支援学校等と連携しながら、障害のある方の就業及びそれに伴う生活に関する指導・助言・職業準備訓練のあっせんなどを行っています。



(出典：厚生労働省ホームページ)

千葉県では、次項の 16 箇所を指定しています。

圏域市町村	名 称	法 人 名	所 在 地
千葉市	千葉障害者キャリアセンター	NPO 法人 ワークス未来千葉	千葉市美浜区新港 43 TEL 043-204-2385 FAX 043-246-7911
船橋市	大久保学園	(福) 大久保学園	船橋市豊富町 690-13 TEL 047-457-7380 FAX 047-404-1481
市川市、浦安市	いちされん	NPO 法人 いちされん	市川市南八幡 5-17-11 TEL 047-300-8630 FAX 047-300-8631
習志野市、八千代市、鎌ヶ谷市	あかね園	(福) あひるの会	習志野市茜浜 3-4-6 TEL 047-452-2718 FAX 047-408-1050
松戸市、流山市、我孫子市	ビック・ハート松戸	(福) 実のりの会	松戸市西馬橋幸町 117 ロザール松戸 109 TEL 047-343-8855 FAX 047-343-8860
柏市	ビック・ハート柏	(福) 実のりの会	柏市柏 3-6-21 柏ビル 302 TEL 04-7168-3003 FAX 04-7168-3006
野田市	はーとふる	(福) はーとふる	野田市鶴奉 7-1 野田市役所内 TEL 04-7124-0124 FAX 04-7124-0124
成田市、佐倉市、四街道市、八街市、富里市、印西市、白井市、印旛郡	就職するなら明朗塾	(福) 光明会	八街市八街ほ 244 番地 62 TEL 043-488-5499 FAX 043-488-5498
香取市、香取郡	香取就業センター	(福) ロザリオの聖母会	香取市高萩 1100-2 TEL 0478-79-6923 FAX 0478-75-1688
銚子市、旭市、匝瑳市	東総就業センター	(福) ロザリオの聖母会	旭市野中 3825 TEL 0479-60-0211 FAX 0479-60-0212
東金市、山武市、大網白里市、山武郡	山武ブリオ	(福) ワーナーホーム	大網白里市細草 3215-19 TEL 0475-71-3111 FAX 0475-77-3399
茂原市、長生郡	長生ブリオ	(福) ワーナーホーム	茂原市六ツ野 2796-10 TEL 0475-44-4646 FAX 0475-44-7798
勝浦市、いすみ市、夷隅郡	ピア宮敷	(福) 土穂会	いすみ市岬町桑田 341-1 TEL 0470-87-5201 FAX 0470-87-7801
館山市、鴨川市、南房総市、安房郡	中 里	(福) 安房広域福祉会	館山市中里 291 TEL 0470-20-7188 FAX 0470-28-2080
木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市	エール	NPO 法人 ぽぴあ	木更津市中央 1-16-12 サンライズ中央 1F TEL 0438-42-1201 FAX 0438-25-5250
市原市	ふる里学舎地域生活支援センター	(福) 佑啓会	市原市今富 1110-1 TEL 0436-36-7762 FAX 0436-26-7090

社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会  
**聴覚障害のバリアフリーに改革の前兆が…**  
**千葉聴覚障害者センターの新たな取組みに立ち向かう**



◆7月1日より公共インフラ化する電話リレーサービス事業とは…

- ✚ 24時間365日利用できるようになった。
- ✚ 緊急通報(110 119 118)が可能となった。
- ✚ 聞こえる人から聴覚障害者への電話も可能となった。
- ✚ 条件付きながらも社会モデルでの利用に道が開かれた。
- ✚ 千葉聴覚障害者センターが事業所として365日(9時～19時)稼働

◆コロナ禍対策に遠隔手話通訳等サービス事業開始（当センター独自事業）

- 手話通訳等の派遣に制約がある場合に、スマホやタブレットを介して当センターの手話通訳者が意思疎通の支援を行う方法
- 総合支援法の意志疎通支援事業枠内での法的な位置づけとなる
- 県主催のコロナワクチン集団接種会場（蘇我・松戸）においても、遠隔手話通訳等サービスを導入

✚ 遠隔手話通訳等サービスのアプリは J-TALK を使用

- ①セキュリティが万全（情報の流失なし、録音録画不可でありプライバシー保護）
- ②手話通訳者と相談支援（ピア相談員）の連携した体制が可能
- ③担当オペレーターはすべて通訳の有資格者であり、しかも千葉県の地方手話や制度を熟知した陣容であること
- ④文字での遠隔通訳への選択ができ、中途失聴・難聴者への支援が可能
- ⑤遠隔手話通訳サービス利用時には、タブレットやスマホの音量が自動調整され、利用終了時に自動的に音声OFFとなる等、バリアフリーに配慮されている。
- ⑥苦情処理窓口が明確であること

✚ 「タブレット」の貸出し・設置

タブレットやスマホを所持していない高齢の聴覚障害者に対し、当センターからタブレットの貸し出しを行い、病院などでタブレットを介して手話通訳を実施

✚ 「スマホ」の IP 料(ライセンス料)の県センター負担

コロナ感染収束するまでの期間に限定して、聴覚障害者個人スマホにかかるライセンス料はセンターが一括負担をして、聴覚障害者の受診等の意志疎通を支援（現時点約100名近く県内在住聴覚障害者が登録）



遠隔手話サービスのイメージ図

◆オンライン方式を併用したイベントの実施…

- ✚ 当センターが実施している「耳の日まつり」や「手話を考えるフォーラム」は、聴覚障害者の社会文化などの実情を啓発する取組みのイベントであることから、聴覚障害者情報提供施設事業の公益事業のひとつとして位置づけられている。
- ✚ 数百人が集る大きなイベントであるため大ホールでの利用となり、コロナ禍による三密防止対策の関係で、イベント参加者は定員数の半分以下となる。これを超える参加数は、オンラインでのライブ配信で対処している。

## 公益財団法人 日本オストミー協会千葉県支部 活動報告

### はじめに

日本オストミー協会は、オストメイト（人工肛門・人工膀胱保有者）が安心して暮らせる社会を目指すために活動している当事者の団体です。

手術後の社会復帰とQOL（生活の質）向上を図るために活動をしています。

主に、病気や障害などが原因で、腹部などに排泄のための開口部（人工肛門・人工膀胱）をもつ人のことです。開口部はストーマと呼ばれています。オストメイトは排泄をコントロールすることができず、ストーマ装具を付けて生活をしています。

現在、千葉県で約1万人、全国で22万人（障害者手帳取得者ベース）のオストメイトがいます。排泄のコントロールができないというハンディキャップがありますが、最近は装具が進歩しており、自分に合った装具を付けていれば排泄物が漏れたりすることは殆どありませんので、訓練すれば社会生活に適応できます。とは言ってもいきなり自分のお腹に排泄物を溜める装具を貼り付けるとなると、手術後は大変不安な状況にあります。適切な装具を見つけそれに慣れるまでは、ただれ、かぶれ等の皮膚障害により、心身ともに苦痛にさいなまれているのが現状です。排泄に関することだけに、公表を嫌う傾向も強く、外見からは判断しにくい障害者であるために、一般に理解されにくいということもあります。

### オストメイト社会適応講習会（県委託事業）

日本オストミー協会千葉県支部は、オストメイトの福祉向上のための講習会、相談事業を行うと共に、オストメイトを多くの人に知ってもらう周知活動を行っています。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に振り回され、リモートでの講習会や「3密」を防ぐため定員制、オンライン交流会など可能な限り実施しました。



講師リモートによる講習会

### 三つの課題解消に関して行政への働きかけ

#### ①オストメイト対応トイレ設置推進

外出時など、オストメイトは腹部に装着した袋状のストーマ装具内に溜まった排泄物を排出するためのオストメイト対応トイレが必要です。近年増加してきましたが、その仕様には様々なものがあり、実際に使ってみて私たちにとってよりよいものにして頂くようお願いしています。

#### ②災害時の対策・避難所へのストーマ装具等の保管、公的備蓄

災害時に備えて各自が一週間分程度の装具を持ち出せるようにしておくのが原則ですが、予想できない事態に備え標準的な装具の公的備蓄をお願いしています。すでに船橋市、佐倉市に加え新たに印西市、市原市で開始実施されました。他の市町村にも要請しています。

#### ③老後の不安（介護サービス担当者研修会の実施）

高齢化などにより自分で装具交換が困難な場合に備えて、介護職へのストーマケア研修を専門看護師の団体 JSSCR と共催で実施。平成30年度から県の「介護人材キャリアアップ研修事業」の助成を受けています。これまでに平成29年、30年に3回実施しましたが、その後台風とコロナのため中止、コロナ禍が過ぎるのを待っている状況です。



介護職研修の状況